

山梨県中小企業家同友会 専用 PROGRAM

計画的 継続的な 社員教育

対象
経営者層
(取締役以上)



職業能力の体系化と人材育成の進め方

受講料
3,300円
(税込)/2日間

2026. **2/24** TUE & **2/25** WED

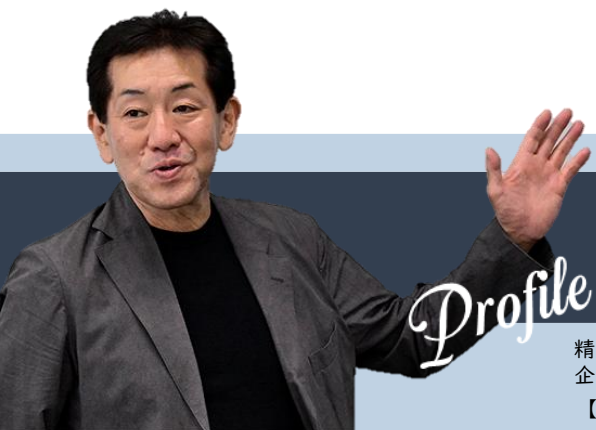
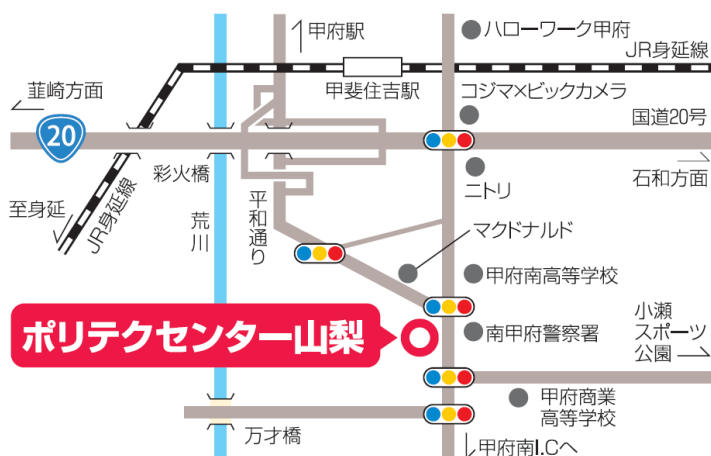
Schedule

令和8年2月24日(火)

9:00~17:00 生産性向上支援訓練
(12:00~13:00 昼休憩)

令和8年2月25日(水)

9:00~12:00 生産性向上支援訓練
(12:00~13:00 昼休憩)
13:00~16:00 AI職務分析ツール活用



Profile

エムアンドイー
株式会社 M×Eコンサルティング
代表取締役 考働力開発アドバイザー 松嶋 清秀 氏

講師

精密機械メーカーにて製造・設計・技術開発・営業・事業開発に従事したのち、コンサルタントとして独立。企業業績と従業員の相関にもとづく考働力を切り口としたコンサルティング・研修で定評がある。

【資格】中小企業診断士 他

申込方法

2026.1月28日(水)までに 同友会事務局へ お申し込みください(受講申込書は別紙)

山梨県中小企業家同友会 専用 PROGRAM

日時

令和8年2月24日(火)

生産性向上支援訓練 9:00~17:00
(12:00~13:00 昼休憩)

令和8年2月25日(水)

生産性向上支援訓練 9:00~12:00
AI職務分析ツール活用 13:00~16:00

研修会場 ポリテクセンター山梨

生産性向上支援訓練

職業能力の体系化と人材育成の進め方

2/24(火) 9:00~17:00 & 2/25(水) 9:00~12:00

(1) 職業能力体系化の重要性

職業能力を体系化することで人材育成のバラツキ(教える中身のヌケモレ)を抑えることにつながるとともに、教わる側もどのように成長していくのかイメージを持つ事が可能になり、学ぶ意欲につながっていく事を理解する。

(2) 職務体系と職業能力の体系化

自組織で職務遂行に必要な知識・技能・資格を職務等級ごとに必要能力を整理し、誰が・いつまでに・何を知らなければ(できなければ)いけないのかを明確にしていく事を理解する。これにより、昇進昇格や昇給の公平さが担保されることも理解してもらう。

【演習】自組織に必要な知識・技能・資格の洗い出し、職務等級ごとに体系化設計を行っていく。

職業能力の体系化

定員
20名

同友会事務局へお申し込みください(受講申込書は裏面)

受講料

3,300円
(税込)/2日間2/24 7時間
2/25 3時間

合計 10時間

(1) 社内指導員の任命

職業能力を継承していくために、誰に指導員になってもらうのか、指導員の任命基準・方法・指導負担に対する組織体制について理解する。

(2) 育成管理

育成の様子は記録に残し、組織内で共有していく事の大切さについて理解する。また、技能認定を行い、本人の意欲を維持・高めていく事についても理解していく。

【演習】従業員の能力をマッピング

従業員の現状の知識・能力を想起し、スキルマップにマッピングし、自組織の技能に関する良い点・課題点を明らかにしていく。

継承する職業能力

(1) OJTの進め方

OJTを進めていく基本は、指導員が手本となるという事を再確認し、OJTの基本である「意図的・計画的・継続的」について理解する。また育成のPDCAについても理解する。

【演習】育成ショートケース事例を用いてOJT実施のポイントを習得していく。

(2) 指導方法

OJTの指導方法の基本である、「ティーチング(教示)」「コーチング(教導)」のポイントと留意点について理解する。また、指導に当たってしどうを受ける相手の心情への配慮、学ぶ意欲の工場のポイントについても理解していく。

【演習】育成ショートケース事例を用いて部下の状況に応じた指導のポイントについて習得していく。

(3) 指導とハラスメント

「叱る」ことも指導であると認識し、どのように叱るのか、叱り方のポイント、そして諭すと叱るを混同しないようにすることの大切さについて理解する。また、ハラスメントについて再確認し、指導の一環として叱る事はハラスメントにはならない事を理解し、部下が「ハラスメント」という気持ちを起こさないような指導・叱責のポイントについて学んでいく。

【演習】育成ショートケース事例を用いてより良い指導のポイントを習得していく。

人材育成の進め方

締切
1月28日

実践編

「AI技術を活用した人材育成支援ツール」活用促進説明会

2/25(水)
13:00~16:00

社員教育システム構築のための支援ツール活用

社員教育を継続的・戦略的に実施するための、仕組みづくりの際に利用できる支援ツールの紹介と活用法について学ぶ

職務分析ツール「Job Skills Navigator powered by AI(スキルアイ)」

● スキルアイの概要と特徴について ● スキルアイ操作手順 ● スキルアイの活用について ○ 質疑応答


受講料
無料

申込先

E-mail
Fax

➔

info15@yamanashi.doyu.jp
055-267-8178



※ お申込みの前に、下記の事項をご確認ください。

☐ 個人での受講はできません。企業（事業主）からの指示による申込みに限ります。※公務員の方は受講できません。

☐ 申込書が事務局からポリテクセンターに到着後、申込担当者様に受講料支払い手続き等についてご連絡いたします。


☐ 受講を取消す場合は、速やかにご連絡ください。訓練開始日の1週間前（土日祝日にあたる場合はその前日）を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきますので、ご注意ください。

次の生産性向上支援訓練について、訓練内容と受講要件を確認の上、受講を申込みます。


コース名	山梨県中小企業家同友会専用PROGRAM（R8.2/24・25） 職業能力の体系化と人材育成の進め方 +「AI技術を活用した人材育成支援ツール」活用促進説明会	コース番号	076-073
------	--	-------	---------

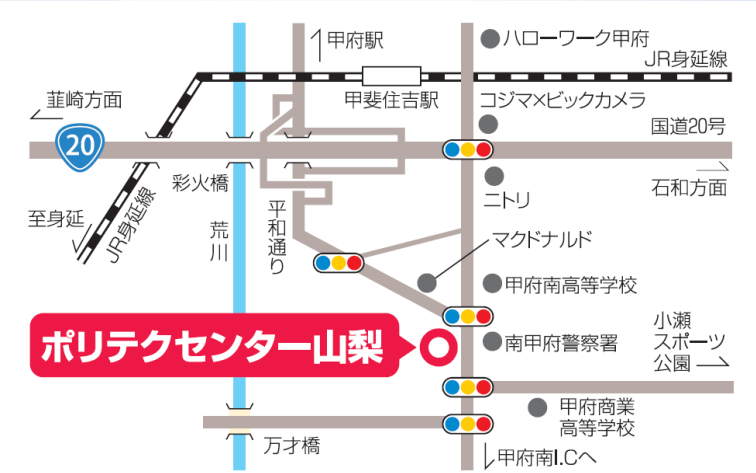
会社名			TEL
所在地	〒		
企業規模	A. ～29人 B. ～99人 C. ～299人 D. ～499人 E. ～999人 F. 1000人～		
業種	01 建設業 02 製造業 03 運輸業 04 卸売り・小売業 05 サービス業 06 その他		
申込担当者	氏名	部署等	連絡先メールアドレス

No.	受講者氏名	ふりがな	役職	性別	年齢	就業状況（該当に☑）
1						<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> その他（自営等）



この講座は「企業変革支援プログラムver2」の主に「Ⅲ-4 共に学び育つ社風づくり」の項目に該当します





人材開発支援助成金

人材開発支援助成金を利用して、訓練経費（受講料）や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。助成金の利用にあたっては、一定の条件がありますので、詳しくはポリテクセンター山梨にお問い合わせいただくか、厚生労働省のホームページをご覧ください。

【保有個人情報保護について】

- (1) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- (2) ご記入いただいた個人情報については、生産性向上支援訓練の受講に関する事務処理（訓練実施機関への提供、訓練に関する各種連絡、訓練終了後のアンケート送付及び業務統計）に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。